

平成31年度 学校教育方針

伊丹市立笹原小学校（学級数：29学級 児童数：831人）

1 平成30年度の取り組み

- (1) 授業力向上に向けた取り組み
具体的推進内容 ①授業研究会(年間3回) ②全員授業公開 ③学級づくり研修会
- (2) 授業改善と校内研修
ミニ講座の実施、個に応じた指導の徹底、特別支援教育の充実等
- (3) 保幼小中連携による生徒指導・学習活動・教職員の資質向上
保・幼・小・中等の連携、情報交換と生徒指導対策の共有化

2 学校教育目標『心身豊かに学び合う子どもの育成』

めざす学校像

今日の学び合いを喜び、明日の学びが待たれる学校

学校は子どもが学ぶ場です。子どもたちに、学んだり、新しいことを知ったりする喜びを感じさせ、学びの続きを楽しみに待てる学校をめざします。そして、誰もが楽しく通える学校をめざします。

いろいろなことが多様化・複雑化する今の時代、子どもの教育は学校だけで、また家庭だけで行えるものではありません。一人ひとりの子どもの将来の幸せのため、学校だけでなく家庭や地域が協力してこそ、実現できるものと考えています。三者が一緒に子どもを育ていくためにも、「信頼される学校」をめざします。

笹原小学校に通ってよかった、卒業してよかった、通わせてよかった、そして働いてよかったと誰もが愛校心や誇りを持てる学校をめざします。

- (1) 子どもたちが学ぶ喜びに満ち、楽しく通える学校
- (2) 児童・保護者・地域に信頼される学校
- (3) 誰もが誇りを持てる学校

めざす子ども像

つよく ゆたかに のびゆく子

これからの予想困難な多様性の時代を、自分の力で生きぬいていく子どもたちには、決まったことを覚える学力だけではなく、新しいことに遭遇した時に、自分で考え判断し、生活に活かせる学力が必要です。

命の大切さを知らせるとともに、お互いが良さを認め合い、相手を思いやる心や、善悪の判断などの規範意識や公共心を持つことが大切です。

校庭開放日や業間遊びなどを活用し、外遊びなどを通して、日常的に運動する習慣を身につかせ体力づくりを行う。学校給食等をしっかりと食べ、お菓子などに頼らないバランスの良い食習慣をつけることが大切です。

- (1) 意欲的に学び努力し続ける子
話をしっかりと聴き、自らの考えを述べ、判断し行動する
- (2) 豊かな心を持つ子
思いやりの心を持ち、お互いの違いを認め合う
安全に心がけ、命を大切にする
- (3) 体を鍛える子
健康や安全に気をつけ、自分の生活を振り返る
望ましい食習慣を実践する。

めざす教師像

子どもの心を動かす教師

子どもに何を学んでいるのか、どのように学んだのかを意識させ、自分で考える時間や意見交換の時間を確保し、主体的な学習を行います。教師自身がすすんで授業公開や研修を行い、ICTを活用するなど、よりわかりやすい授業をめざします。子どもに感動を与える授業づくりをめざします。

子どもの現状を細やかに観察し、適切な対処を心がけます。学校として「教育のユニバーサルデザイン」を推進し、学習環境を整え、学力の向上をめざします。子ども一人ひとりの夢の実現に向けて、学校・家庭・地域が協力して取り組みます。教師として「危機管理意識」を高く持ち、複数での対応が出来るように努めます。

- (1) 思考力・判断力・表現力を育て、学習意欲を引き出す教師
- (2) 互いに学び合い、授業改善に努め続ける教師
- (3) 子どもの実態を常に把握し、協力して迅速に対応する教師
[危機管理意識]

3 教職員の勤務時間の適正化に向けた取り組み

教職員の意識改革と勤務時間の適正化の推進

社会では全国的に「働き方改革」が言われ、教職員の負担軽減についても問題になっています。子どもたちに良い教育を提供するには、教職員自身がゆとりを持ち元気であることが必要です。先生たちの元気があつてこそ、学校で子どもたちをしっかりと受けとめ、あたたかく適切な指導が行えると考えています。そこで教職員の負担を軽減するため、2月から始めた学校の留守番電話の使用(平日18:30～翌朝、土日祝 終日)を継続します。

また職場の環境整備を進めるとともに、合理化を図るなどして、週1回の「定時退勤日」と「ノー会議デー」の徹底に努めます。併せて、「記録簿」の記入による勤務時間管理を進めます。